

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2839	カーサプラチナ日吉		株式会社 ハートフルケア			H28.9.15		
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク					H28.10.19		
<b>評価結果</b>								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	B	B	6.2.1	B	A
1.1.2	A	B	2.3.5	A	A	6.2.2	B	A
1.1.3	C	C	2.3.6	B	B	6.2.3	B	A
1.1.4	A	A	2.3.7	B	C	6.2.4	A	A
1.2.1	B	B	2.3.8	B	非該当	6.2.5	B	A
1.2.2	B	B	2.3.9	B	A	6.2.6	A	A
1.2.3	B	B	2.3.10	B	A	6.2.7	A	A
1.3.1	B	A	2.3.11	B	A	6.2.8	A	A
1.3.2	B	A	2.4.1	C	B	6.2.9	A	A
1.3.3	B	A	2.4.2	B	B	6.3.1	B	B
1.4.1	B	B	2.4.3	B	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	B	B
1.4.3	B	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	B	3.1.1	A	A	7.2.1	B	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	B	B	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	B	A
1.5.2	B	A	3.1.6	A	A	7.4.1	B	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	B	A
2.1.1	B	B	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	C	C	4.1.2	C	C	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	B	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	B	B
2.2.3	A	A	4.2.1	B	B	7.5.2	A	A
2.2.4	B	B	4.2.2	B	A	7.5.3	B	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	B	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	A	7.5.5	B	A
2.2.7	A	A	5.2.1	B	A	7.5.6	B	B
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	B	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	B	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	B	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	B	A			
2.3.3	B	B	6.1.3	A	A			

## 【評価機関の所見】

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-4-3	ホームは、職階に応じたキャリア定義を設定し、人事考課の評価要素もキャリア定義ごとに、成績・情意・能力に区分してそれぞれ策定されている。評価は年2回、自己評価、一次評価、二次評価を行い、自己評価後一次考課者と面接し、仕事進捗状況を上司と部下で共有する機会を設け評価を行っている。さらに、最終評価後二次考課者から評価結果をフィードバックする機会を設ける等、納得性のある人事考課制度のしくみが構築されている。
4-2-2	各種アクティビティは、レク委員会が中心になり、アクティビティ実施企画書で立案し、アクティビティ実施記録で、評価反省を行い、次につなげている。日々の体操等の他、講師を招いて開催するフラワーアレンジメント、アートセラピー、音楽療法、書道、伝筆などほぼ毎日実施されている。また、常勤の機能訓練指導員が個別機能訓練実施計画書にも基づき、個々に合わせて、個別リハビリやゲーム要素を交えたグループリハビリを提供している。
5-1-1	入居者に食事の時間を楽しんでもらえるよう節分の恵方巻き・ひな祭りのちらし寿司など季節のメニューに加え、毎日、朝食は和食・洋食が選べる選択メニューを実施している。また、食材にこだわり、野菜や魚は加工前に納品されるほか、カレー・うどんなどアラカルトメニューも提供でき、世界のメニューや郷土料理も取り入れている。さらに、月1回の「プラチナナイト」は、家族も参加できる夕食パーティとして定着している。
5-2-5	ホームでは、自分の口で食べられることを大切に体と心を健やかにするため、口腔ケアに取り組んでいる。日々の職員による各居室での口腔ケアに加え、週に1回、協力医療機関の歯科医が訪問し、また、週に2回、歯科衛生士が訪問して、入居者の口腔ケアや口腔指導を行っている。最近の事例では、入居者本人と家族の意向に応え、言語聴覚士と連携を図り、積極的に口腔ケアに取り組んだ結果、胃ろうから経口摂取に復帰したケースがある。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-3	ホームは開設2年目であり、法令遵守については、ホーム立ち上げ時研修や新人職員研修等で職員に周知を図っている。また、社内規程としては、法令遵守規程を定め、法令遵守への考え方を定義している。一方、法令遵守の範囲は、社会的ルールの遵守のみでなく、公正な企業活動、人権の尊重、消費者保護等広範囲にわたっており、それらの方針を包括し、かつ、ホームの実態に適応した「自主行動基準」の策定が求められる。
2-1-2	年度事業計画において、ホームとしての数値目標はあるが、具体的行動計画まで落とし込まれていない状況である。事業を展開する中で、数値目標は明確で分かりやすいが、それを達成するための行動計画があれば、職員はより具体的な目標を持って業務を遂行することができる。さらに、部門または職種ごとにそれぞれの年間行動計画をまとめ、ホームの年間事業計画として策定・運用されることを期待したい。
2-3-7	ホームの会計区分は、拠点区分ごとに区分され、事業収入・事業支出・事業損益が表示されている。介護保険指定事業については、他の事業会計と区分表示することが義務づけられているが、ホームにおける会計区分は、指定された会計区分が行われていない。今後は、介護保険指定事業と他の事業会計の区分を明確にして、さらに、その結果をホームページ掲載等により公表することが望まれる。
6-3-1	現行の業務マニュアルは手順が書かれている箇所がやや少ないため、誰でも使えるよう作業手順を明記し、図や写真を盛り込むなどの改定も必要と考えられる。また、業務マニュアルに基づき、介護職員を中心に、高齢者の心身の特性・介護に関する知識および技術・作業手順等について研修することで、ホーム全体の専門性を高めることができる。今後は、質の高いサービスを提供できるよう、1年間の職種や職員ごとの研修計画の策定に期待したい。